

シリーズ 景観 56

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

「みんなで残したい松江の景観400選集」から
景観審議会が特にお薦めする景観

加賀の旧潜戸

No. 82

「賽まひの河原がわらのある洞門で、亡くなった小さな子どもたちが積むという石の塔が並びます。※遊覧船を降りて散策できます」と推薦いただきました。

加賀の潜戸は、島根町加賀にある2つの洞窟からなり、潜戸鼻の突端に近い海側の洞窟を「新(神)潜戸」、加賀港から正面に見える陸側の洞窟を「旧(仏)潜戸」と呼びます。

新潜戸は、出雲四大神の一人である佐太大神さたのおおかみが生まれた地として「出雲国風土

記」に記されており、遊覧船で中に入ると、澄んだ海の色と外からの光で神秘的な空間が広がっています。

旧潜戸は、若くして亡くなった子どもの供養のために積まれた石の塔が至る所に立ち、衣服やおもちゃなどが供えられ、その傍らに波が打ち寄せています。長い年月を経て、「自然」と「人の思い」が作り出した風景が静かに佇んでいます。

爽やかな海風を感じながら、遊覧船で加賀の潜戸を訪れてみませんか。

(※遊覧船に関する問い合わせ 加賀潜戸遊覧船 ☎85-9111)



「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。

【問い合わせ】まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選

検索